

日タイ・ミュージック・セッション

伝統音楽の旗手たち



FUTURE OF

ASIA

アジアの未来

主な予定曲目

花、庭の千草、ソーラン節、アメイジング・グレイス、Love Is Still Beautiful、FUTURE OF ASIA、他

アジアの平和な未来を
音楽で奏でる、
感動のステージ！

公演日程 2025 10/22 (水) 6:30p.m. Niterra日本特殊陶業市民会館フォレストホール

入場料金：¥6,000〈税込〉【全席指定】 ※未就学児童の入場は固くお断りいたします

●お問い合わせ
MIN-ON中部センター ☎052(325)5495

主催：MIN-ON
後援：タイ国政府観光庁
制作協力：(株)ALIVE

●チケットのお求めは
チケットぴあ [Pコード:301-379]
ローソンチケット [Lコード:43420]
Niterra日本特殊陶業市民会館(窓口販売のみ)
栄プレケ92 ☎052(953)0777
名鉄ホールチケットセンター ☎052(561)7755
<https://www.e-meitetsu.com/mds/hall/>



公演特設サイト



約2年ぶりに、変わらぬメンバーで「日タイ・ミュージック・セッション FUTURE OF ASIA」が戻ってくる。日本の和楽器奏者AUN&HIDE、タイのASIA7からギタリストのTonとヴォーカルのAoyの二人に、ピアノ／シンセサイザーの野津永恒とベースの片野吾朗が加わったユニット。彼らの2023年のライブ、今もはっきりと思い出す。伝統とモダンが融合した見事な音のコラボレーション、各ミュージシャンによる時に超絶技巧と言えるほどの高い技術、誰もが楽しめるポップな雰囲気も思わず笑顔が出るエンタテインメント性もあって、本当に素敵なコンサートだった。その時にインタビューをさせて頂いたのだが、AUNの井上良平さんは「タイと日本の友好コンサートですし、平和を作ること音楽を通してできると確信しています。平和と愛、Love&Peaceっていかにもですが、今、このことができればと強く思いました」。平和を作るという使命感。そして、タイのTonさんは「AUN&HIDEと演奏することでまずその文化を知ろうと思いました。伝統音楽を演奏しているのを見てまず真似て咀嚼し、自分の中で発展させていく、ということをしました」。相手を理解しようとする姿勢。そしてその上での綿密なやり取りで共通の意識を持てる作業をしたと話してくださったことに感銘した。彼らの素晴らしいステージはこういうことを重ねてきたから出来たものだし、だからこそ観た人すべてが感動するものを作れているのだな、と思った。さて今年は彼らのどのような新しい音楽が聴けるのだろう、楽しいステージが観られるのだろう。ワクワクしながらその日を待っている。

音楽評論家 関谷元子

FUTURE OF ASIA

アジアの未来

伝統音楽の旗手たち



プロフィール

AUN & HIDE



和太鼓、太棹三味線、篠笛

AUN 井上良平(兄)、井上公平(弟)

1969年、大阪府堺市にて5人兄弟の末の双子として生まれる。高校卒業と同時に世界的に活躍していた和太鼓集団「鬼太鼓座(おんでこざ)」に参加。12年間、座の中心的存在として世界20カ国・地域、国内外1000回以上の公演活動を行う。2000年、日本の和楽器音楽を世界へ発信すべく、新境地を求めて双子ユニット「AUN」を結成。これまでアメリカ、ヨーロッパ、アジア、北欧、中近東、南米など、世界40カ国以上の国と地域で演奏活動を行っている。平成23年度文化庁文化交流使。

鳴り物

HIDE 秀

1987年、佐渡島を拠点とする和太鼓グループ「鼓童」に参加。17年間、グループの中心的存在として活躍。鼓童時代に、ハリウッド映画の音楽に演奏家として多数参加し、日本ゴールドディスク大賞(邦楽部門)、日本レコード大賞特別賞を受賞。2004年、新たな可能性を追求するため、独立。2005年から「鳴物師 秀-HIDE-」と名前を改め、「唄って・踊れて・打てる現代の鳴物師」「日本唯一のチャップソリスト」として幅広く活躍している。平成23年度文化庁文化交流使。

ASIA7



ヴォーカル

Aoy アオイ

ピン、ケー

Ton トン

ASIA7は2013年、タイの音楽界に新風を吹き込むべく、マヒドン大学出身のトン(Ton)、アオイ(Aoy)ら音楽仲間によって結成されたフュージョンバンド。2016年、「タイ国際ジャズ会議」で正式デビュー。彼らは、タイの民族楽器と洋楽器の音色が融合したアジアン・ポップなサウンドが特徴で、ジャンルの垣根を越えた独自の音色は、タイ国内で人気を博している。これまで韓国、インド、ノルウェー、フィリピン、シンガポール、ラオス、マレーシアなど海外でも積極的にライブ活動を展開。2022年リリースのアルバム『The Seeker』は、タイのメジャーレーベル「GMMグラミー」傘下の「GeneLab Records」から発売され、大きな話題となる。

ベース

片野吾朗

1985年、神奈川県鎌倉市出身。中学生でベースを始め、大学ではJazzを専攻。卒業後はあいみょんや藤原さくら、関ロシゴ、辻本美博、Nakamura Emi等のサポートを務める。また横山達治ラテンバンド、山本真Classic ウィンドオーケストラ、邦楽の井上公平、ロックバンドNASOONといった幅広いジャンルに参加。YouTubeプロジェクト「月見一盃」では定期的に作品を発表。作曲家、編曲家としての顔も持つ。

ピアノ、シンセサイザー

野津永恒

1989年、島根県出身。4歳からエレクトーンを始め、ヤマハエレクトーンコンクールに出場し、全日本大会で銀賞、銅賞を受賞。その後、ピアノへ転向し、桐朋学園大学のピアノ専攻を卒業。これまでに川井郁子、NAOTOをはじめ、さまざまなアーティストのサポートを務める。インストゥルメンタルPOPSユニット「sources(ソースズ)」のメンバー。

